

令和7年度 第2回学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 郡上高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年10月9日(木) 13:30~15:30
- 3 開催場所 郡上高等学校会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した。
- 4 参加者

会 長	日置 保次	郡上市立八幡中学校校長
副会長	宇佐見 美智子	地域住民
委 員	服部 敦子	郡上市教育委員会
	上田 晋市	一般財団法人郡上八幡産業振興公社
	田代 はつ江	地域住民
	北洞 良憲	郡上高等学校PTA役員 (欠席)
学 校 側		
	浅見 和人	校長
	勝村 英司	事務部長
	瀧下 直子	教頭
	八束 功子	教頭
	安藤 一太	教務部長
	森下 大介	進路指導部長
	山本 力也	生徒指導部長
	後藤 公輔	農場長
	市原 賢優	普通科主任

5 会議の概要(協議事項)

「令和7年度前期の取組」・「学校評価アンケート結果」について

・教頭、分掌長、科長より説明

- 意見1** 八幡大橋の花壇に園芸科学科によって花が植えられ、夏の厳しい暑さの中においても美しく整備されており景観がよい。
- 意見2** アンケートの23番は高校生には質問が漠然としている。
- 意見3** アンケートの質問は質問の仕方が難しい。高校生はどの大人が郡上高校出身かといったことは認識していないため、23番の質問は答えづらい。質問の目的をより明確にし、質問の焦点をそこにしぼって質問するといいい。
- 意見4** 進路が多様化しており、分かりにくい一面もあるが、きめ細かく進路指導が行われていることが分かった。
- 意見5** 生徒対象の質問12番では常にいじめや差別を許さず、ゼロを目指して取り組んでもらいたい。

- 意見 6** 地元の子が地元へ進学するとは限らない今日、郡上高校で学ぶと何ができるようになるのか、どういう特徴がある学校なのかを広報していくとよい。学校としてより改善すべきところはあるのかを検証しながら進めていってほしい。
- 意見 7** 学校評価アンケートの質問の主語は誰なのか。中学校だと、「あなたは」「学校は」「生徒は」の3つである。主語を明確にすることで質問が分かりやすくなり、生徒も自分事として回答できる。
- 質問 1** 就職者の内、どのくらいが地元就職なのか。
- 回答 1** 市内一般企業への就職希望者は減少傾向にあり、大変少ない。
- 質問 2** 生徒は全員スマートフォン等を携帯しているのか。
- 回答 2** 全員ではない。スマートフォン等を持っていない生徒もいる。
- 質問 3** 授業中にスマートフォンを利用することはあるのか。
- 回答 3** 授業中、生徒はタブレットを使用することを基本としている。個人のスマートフォン等を使った授業はほぼないに等しい。
- 質問 4** ICTを取り入れた授業が主流になっているが、デメリットはないか。
- 回答 4** 授業で先生が説明時に使用するスライドが次々と新しいページに移っていき、黒板を使用していた時代のように授業終了時に黒板見れば本時の学習の形跡がたどれるというわけではない。しかし、授業の流れの中で本時の授業の重要な点をホワイトボードに書き残しながらスライドを使用する等、教師の工夫次第では今まで以上の教育効果を期待できる。

以上の意見を確認した上で、生徒・保護者等からの学校評価について理解を得られた。

6 会議のまとめ

報告された前期の取組状況や学校評価アンケート結果をふまえ、今年度下半期の教育活動を推進していくことを確認し、第3回学校運営協議会では年間を通した活動について、自己評価・学校関係者評価をもとに協議することを案内した。